

富山シティエフエム

令和7年度第5回～8回番組審議会（合同開催）

1. 開催日時

令和8年3月17日（火）午後3時～

2. 開催場所

富山市安住町2-14 北日本新聞社10階会議室

3. 出席委員

委員総数6人

出席委員6人

出席委員の氏名（◎委員長、○副委員長）

◎徳永 洋介（富山大学教授）

○大井 秀樹（富山商工会議所中小企業相談所長）

中田 至彦（富山市企画管理部広報課長）

倉川 有馬（富山青年会議所監事）

平島亜由美（北日本放送報道制作局次長）

澤 聡美（富山大学准教授）

放送事業者側出席者

中田 洋志（富山シティエフエム常務取締役）

小原 源（同 放送部長）

水上啓子

川田知恵美

4. 議題

①印象吟川柳

放送：2026年2月18日（水）14時00分～15時00分ほか

【番組内容】

日常にある「環境音」やメンバーが選んだ「音楽」をテーマに川柳を作り発表。県川柳協会会長の伊東志乃さんを中心とする愛好家団体「らじお北斗」のメンバーが出演。ラジオやシティエフエムのSNSなどを通じて寄せられた投句を紹介するほか、自分たちの作品も発表する。提出回は「エコリンク」の音をテーマとしたもの。昨

今のAIについてメンバーが思うことなども話している。

【委員の意見】

ラジオならではの「音」に着想を得ているのは良かった。リスナーからの投句で巻き込んでいる感じが良い。1時間番組で話がバラバラする感じがある。全体に和やかな空気感で好感が持てた。AIの台頭で川柳や俳句の大会が難しくなるなどの話は、考えさせられた。時事を風刺する作品などがあっても良いのでは。

②ラジオの遊び場

放送：2026年2月20日（金）16時30分～17時00分ほか 30分の録音番組

【番組内容】

YouTubeやSNS、webメディアを中心に情報発信している「富山の遊び場！TV」のメンバーが出演。富山をもっと好きになろうというコンセプトで、富山の話や自分たちが関わるイベントの紹介などを行っている。

【委員の意見】

仲の良い女子3人のトークが軽妙で親近感が沸いた。良い意味で気軽に聞ける番組だった。リスナーのメッセージのやり取りの中で富山のネタが繰り広げられており「富山をもっと楽しく」のコンセプトがしっかりと伝わってきた。ネットで活躍している人との連携はありではないかと思った。

③ものしり富山学

放送：2026年1月27日（火）7時16分～、12時15分～、17時35分～

【番組内容】

県内の博物館や美術館などを訪ね、学芸員や施設職員にインタビュー。基本的に一施設で5本を収録し、月曜～金曜まで帯で放送している。1/26からは特別に2週に渡り、富山大学内のヘルン文庫を取り上げた。図書館職員に文庫について、小泉八雲研究者の富山大学の中島教授、水野准教授に現在の研究、ボランティアガイドに話を聞いた。提出回は図書館職員の回。

【委員の意見】

とても面白く聞いた。担当職員の熱い想いがしっかりと感じられた。引き出すインタビュー力にも感心した。連続テレビ小説「ばけばけ」と連動するタイムリー感が良かった。富山に暮らして、何となく知っていても、深いところまで知らなかったので大変勉強になった。周りの音が気になったので、録音方法に改善を。

④耳からポロリ

放送：2026年1月8日（木）8時10分～、13時00分～、17時25分～

【番組内容】

富山市西町出身の落語家・柳家さん生さんによる番組。落語界の裏話から日々思うことまで、様々な話を展開している。聞き手はNHKラジオの外部ディレクターなどを務めるデーブ川崎さん。東京で録音制作。

【委員の意見】

江戸落語、上方落語の違い、言葉の違い、今では忘れられている季節のことなど、プロの軽快な語り口でわかりやすく勉強になった。

何の話題か入り口があるとなお良い。東京で制作しているからか、なんとなくお洒落にまとめられており、富山の感じがなかったので、もう少し地元感があっても良い。

以上